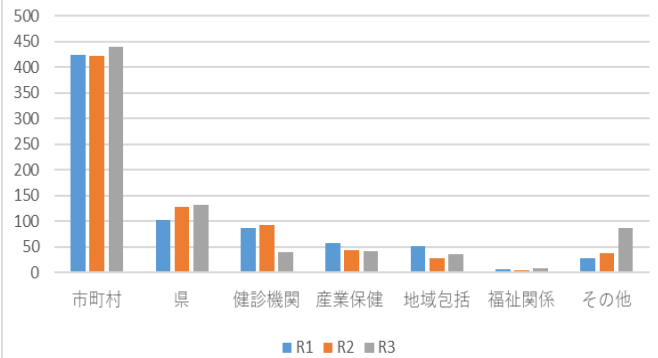


県内で働く保健師は何人？

総計	市町村	県	健診機 関	産業保健 (企業・事 業所)	地域包括 支援セン ター	福祉 関係	その他			合計
							病院・ 診療所	教育・ 研究機関	その他	
正規	386	113	39	42	29	8	53	12	18	700
会計年度等	53	20	2	0	7	1	4	0	0	87
合計	439	133	41	42	36	9	57	12	18	787

集計方法：今回より「保健師の活動基盤に関する基礎調査（日本看護協会）」項目に基づき分類集計に変更。データは大分県福祉保健部健康づくり支援課調べによる「令和3年度 保健師・栄養士名簿(4月1日時点)」より ※嘱託を会計年度に変更

県内保健師数の推移



県内で働く保健師は **合計787名** となっています。

昨年度より30名増（正規40名増、会計年度等10名減）3年前のR1と比較し**29名増**となっています。

R1年度：758人（うち正規659人、嘱託等99人）

R2年度：757人（うち正規660人、嘱託等97人）

参考：R3.12月末現在の

看護協会加入者は10,083人（保健師は536人）

保健指導ミーティングを開催しました

日時：令和3年11月20日(土) 《参加者》62名

※保健師人材育成指針キャリアラダーA1に位置づけ

講演

「これからの保健師活動への期待を込めて～若い人たちへのエール～」

講師 竹田市地域包括支援センター 坂本信江 氏

「地域の人たちは若いあなたたちが来るのを楽しみにしている。相手の立場になって寄り添い、何度も何度も訪問すること。そして、仕事に対して熱い思いを持ち続け、自ら考え、学ぶことが大切。一人ではなく仲間とともにチームで動くことを忘れずに」等、ユーモアを交えながら、たくさんの「エール」をいただきました。



実践報告 & 意見交換

「コロナ禍でもがんばってます！」

新任期：中村里咲氏

指導者：神田恭子氏（玖珠町子育て健康支援課）

地域にできる機会が減り、ワクチン接種という新たな業務を行う中「健康づくりを止めてはいけない！」と住民と共に、そして先輩に相談しながら前向きに活動している様子をご報告いただきました。参加者からは「自分も押しつけにならないように住民と一緒にがんばりたい。」というご意見をいただきました。



看護職連携強化交流会を開催しました

日時：令和3年12月4日(土) 《参加者》会場51名、オンライン154名

シンポジウム テーマ：「全ての人が必要な時に切れ目なく提供される看護を目指して」

～看護職連携強化に向けた看護職間の連携事例の共有～

- 別府市健康推進課 課長補佐 本田純子 氏
- 西田病院 助産師 鉄山真美 氏
- 中津市民病院小児科病棟 看護師長 南ひろみ 氏
- 看護師（発表者） 出野昌幸 氏
- けいわ訪問看護ステーション大分 看護師 首藤直美 氏



「妊娠・出産」に関する行政・病院の連携状況や医療的ケア児の在宅移行支援と地域における看護連携について報告いただきました。今回は「母子・小児」への切れ目ない支援の実例を事例を交えながら共有しましたが、お互い知っているようで、知らないことが多く、実りあるシンポジウムでした。

特別講演

演題：「全ての人が必要な時に切れ目なく提供できる看護を目指して」講師：日本看護協会 会長 福井トシ子 氏

医療・看護を取り巻く現状や社会保障制度改革からみた看護職の役割・働き方改革に至るまで幅広く、看護職の将来ビジョンについてご講演いただきました。まさに「必要な時に切れ目なく、支援を提供できる」ために知っておかなければいけない内容ばかりでした。

職能委員からのメッセージ

「心」が削られるコロナ禍ですが「つらい」と言える、「大丈夫？」と声をかけてくれる仲間がいることが、これほど心強く思えた日々はありません。そのパワーを保健活動の力にかえ、一緒に乗り越えましょう。

看護協会への新規入会者を募集しています
(公社)大分県看護協会 ☎097-574-7117